

## 新発田市 平成 30 年度 第 1 回定例記者会見

1 日 時 平成 30 年 4 月 4 日（水）午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

- 『春<sup>はる</sup>RUN<sup>ラン</sup>漫<sup>まん</sup>』しばたジョギング大会 in 加治川桜堤
- 台湾金厦<sup>きんか</sup>旅行社による新発田市への観光ツアー
- 韓国のゴルフ旅行エージェントによる「阿賀北ゴルフ三昧プラン」の送客開始
- 東小学校開校式
- 「新発田市ハザードマップ」の策定
- 中小企業の生産性向上のための設備投資に関する支援
- 住宅リフォーム支援制度の継続実施
- 「新発田の春まつり」
- 札の辻広場のイベント「れんぎょうフェスタ 2018」
- 札の辻広場のイベント「みんなでお絵かき! 札の辻キャンパス」&「こどもウィーク」
- 「健康ウォーク手帳」と「20 万歩チャレンジ」
- 本物で学ぶ「縄文時代の暮らし」
- 「春の全国交通安全運動」に伴う街頭指導
- 市ホームページのリニューアル
- 「広報しばた」のリニューアル

### あいさつ

- 新年度最初の記者会見です。本年度も、新発田の記事を多く取り上げていただくよう、よろしくお願いいたします。
- ここ何日かで暖かくなって、まさに春の真っ盛りですが、桜のつぼみも大きくなったと思っています。
- 3 月にも皆さんにお知らせしましたが、4 月 8 日（日）に、3 回目となる「『春 RUN 漫』しばたジョギング大会 in 加治川桜堤」が開催されます。
- かつて「長堤十里」と謳われた加治川の桜堤を走るジョギング大会ですが、昨年に引き続き、インバウンド誘客による台湾からの観光客の皆さんが参加します。

- 今回来られる皆さんは、ご高齢の方もおられるので、走られる方もおられるでしょうが、ウォーキングに近いかもしれません。
- 県内では、新潟市や村上市にも、ハーフマラソンを含めた、スポーツとしての大会があるようですが、こちらは競い合うのではなく、スポーツを通じて季節に触れあうイベントです。
- ジョギングしている姿を写真に撮って、記事にしていただけると、たいへんうれしく思います。

### **台湾の話をしましたので、インバウンドの関係からお話しいたします。**

- 1つ目は、台湾<sup>きんか</sup>金厦旅行社による新発田市への観光ツアーです。
- これまでも台湾からのツアーはありましたが、新たな取組として、ヨリネスしばたの「札の辻ラウンジ」で、新発田ブランド認証事業者が当市の物産をPRしながら対面販売を行うほか、旧県知事公舎での菓子作り体験をツアーに組み入れました。
- また、当市だけでなく、阿賀北の各市町村を周遊するメニューもあり、現在は、4月から6月にかけてのツアーを募集中です。
- 2つ目は、ゴルフプレーと宿泊をセットにした「阿賀北ゴルフ三昧プラン」です。
- 昨年9月から11月にかけて、キャンペーン期間として初めて送客を受け入れましたが、今年は、春のシーズン当初から本格的に予約受付を開始しました。
- また、4月7日から10日までの間、韓国の旅行エージェント8社を招き、当市と胎内市で、宿泊とプレーを体験していただくこととしています。
- このプランは、新潟県からも支援していただいております、これまでスノー・シーズンがメインだった新潟県のインバウンド観光において、グリーン・シーズンの目玉として大きく成長することを期待しています。

○いずれも、昨年度のトップセールスの成果が形になって表れたものと自負しており、今後も、トップセールスを含めたインバウンド誘客に注力したいと考えております。

### **次に、東小学校開校式について。**

○4月9日（月）、松浦小学校、五十公野小学校、米倉小学校の統合により新設される「東小学校」の開校式を開催します。

○東小学校は、校名、校歌、校章を地域住民からの公募によって決定するなど、地域が一体となって開校に向けた協議・検討を進めてきました。

○開校後も、学校、地域、保護者が一緒になって、子どもたちの成長を見守り、たくさんの思い出を作る学び舎として、新たな歴史を刻んでいくことを期待しています。

○なお、開校式終了後に入学式が執り行われます。真新しい校舎で、新たな一歩を踏み出す子どもたちを、ぜひ取材していただきたいと思っております。

### **次に、「新発田市ハザードマップ」の策定について。**

○この度、平成19年に全戸配布したハザードマップを全面的に更新し、新たなハザードマップを策定しました。

○市内の11地区を地区ごとに分割した冊子とし、各地区の地図を見開き1ページに収めたほか、市全域を俯瞰できる大判図ふかん おおばんずを掲載しています。

○また、庁内での検討はもとより、自治会連合会や防災協会などの意見を取り入れ、文字の書体や色なども、より見やすく、分かりやすいものとなるよう工夫しました。

○加えて、昨年11月に県が発表した「新たな津波浸水想定」を掲載し、東日本大震災後の最新の想定を反映しました。この「新たな津波浸水想定」をハザードマップに掲載したのは、新発田市が県内で初めてです。

○今後、市内全戸に配布するほか、転入世帯へも配布します。市民の皆様には、日ごろからの防災意識醸成に大いに役立てていただきたいと思います。

## **次に、中小企業の生産性向上のための設備投資に関する支援について**

○平成 30 年度から平成 32 年度までの 3 年間、中小企業が新たに導入する設備投資にかかる固定資産税率を「ゼロ」とする取り組みを進めることとしました。

○これは、昨年 12 月に政府が取りまとめた「新しい経済政策パッケージ」の一環で、中小企業の生産性革命を目的とした「生産性向上特別措置法案」の成立を踏まえて、当市でも積極的に進めたいというものです。

○具体的には、市内の中小企業が策定する年 3 パーセント以上の生産性の向上に繋がる設備導入計画を市が認定し、その計画に基づき機械装置や測定・検査工具、建物付属設備などを導入した場合、3 年間の時限措置として、導入にかかる固定資産税の税率を「ゼロ」にするというものです。

○また、特例措置を受けた中小企業は、「ものづくりサービス補助金」や「小規模事業者持続化補助金」、「IT 導入補助金」などの国の補助金が優先的に採択されるメリットもあります。

○なお、根拠となる「生産性向上特別措置法」が、6 月に施行される予定であることから、速やかに必要な条例改正の準備を進め、市議会 6 月定例会に上程し、議案の可決後に具体的な取組を進めることとしています。

## **次に、住宅リフォーム支援制度について**

○平成 24 年度にスタートした「住宅リフォーム支援制度」を、本年度も継続して実施します。

○新年度から、財源であった国の交付金が手当てされなくなりましたが、市民の皆様たいへん好評を得ていることから、市の単費で事業を継続することとしました。

- 昨年度に比べて補助率はやや下がりましたが、限られた予算の中で、より多くの世帯の需要に応えられる形に制度を変更したものです。
- また、新たに「耐震改修を実施する世帯」、「下水道接続を実施する世帯」、「市外から転入する世帯」を「一定要件枠」の対象に加えました。
- 毎年度、400件以上の申請があり、市民の皆様の経済的支援はもとより、住宅建築業界にとっても、大きな経済効果をもたらしているものと自負しているところです。
- ぜひ、多くの市民の皆様に、ご活用いただきたいと思います。

このほかの情報としては、市内の桜の名所で行われる恒例のイベント「新発田の春まつり」があります。

また、札の辻広場のイベントとして、紫雲寺地区の花「れんぎょう」の魅力を紹介する「れんぎょうフェスタ 2018」や、子どもを対象とした「みんなでお絵かき! 札の辻キャンパス」、「こどもウィーク」があります。

さらに、気軽にウォーキングに参加してもらうための「健康ウォーク手帳」と「20万歩チャレンジ」があるほか、小学生に本物の土器を使って学んでもらう出張授業「縄文時代の暮らし」、「春の全国交通安全運動」に伴う街頭指導があります。

併せて、市ホームページと「広報しばた」のリニューアルについて、資料を配布しております。

ぜひ、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。